があります。念のために，同辞書第6版の，他動詞用法の give の20番目の語義の記述を引用します。見出し語の give は用例中では～で表されていますが，ここでは spell-out してあります。

［目的語＋*to* do　を伴って］ **a**　…に…させる (cause)，得させる (enable): You *gave* me *to* understand [believe] that you were willing to accept my application. 私の申込書を受け付けて下さるというご意向だと知りました. / The struggle *gave* her *to* experience the miseries of life. この苦闘は彼女に人生の苦難を経験させた. ★受身では間接目的語に当たる人をさす語が主語となる.: *I am given to* understand [believe] that ... …ということがわかる. **b** 《文語》〈神などが〉〔に〕…しうる力［権能］を与える〔to〕. ★次のような受動構文で用いる: *It is given to* few to understand this. このことを理解しうる者は少ない (cf. *Matt*. 13:11).

注記は第5版のそれと変りはありません。この構文についてこれほど詳しい説明を加えている辞書は，*OED*, *Web*.3を含めて他にはないように思われます。第4版を見ますと，第19番目の語義に「許す (allow)，得させる (enable)」の語義と，

(15)　give a person to understand [know, see]

(16)　The struggle gave her to experience the miseries of life.

(17)　It was given to the apostle Paul to discern it.

の用例があります。aとbに語義分けをするようになったのは第5版からで，おそらく第5版の改訂の時に，(17)の仮主語 it をとった受動形の例をどう説明したらいいかを考えた結果なのでしょう。bの語義は聖書からの引用がもとになっていますから，《文語》というラベルも適切であろうと思います。ただし，この《文語》は，聖書を読むときに必要な語義・用法と理解してください。

さてそれでは，(17)や(2)(3)の it はどのような用法なのでしょうか。(3)の聖書からの引用文の一部，To you it has been given to know the secrets of the kingdom of heaven の能動形は(18)のようになります。主語は，イエスですから，the Lord を主語にします ((18)-(21)は変形のプロセスを示す構造であり，普通の文ではありません)。

(18)　the Lord has given you to know the secrets of the kingdom of heaven

（主は私達に御国の秘密を知らしめようとした）

今度は逆に，to 不定詞を主語にこれを受動形にしてみます。

(19)　to know the secrets of the kingdom of heaven has been given you

主語が長い to 不定詞句になったので，これを仮主語 it に置き換えてます。

(20)　it has been given you to know the secrets of the kingdom of heaven

she gave me the book. を直接目的語を主語にした受動形にする時に，the book was given me by her とするよりは，間接目的語に to を加えて，the book was given to me by her とすることが多いのですが，その同じ原理を働かせると，

(21)　it has been given to you to know the secrets of the kingdom of heaven

という，もとの文を得ることができます。

（八木克正）

43. 同格のコンマの有無

Q. 以下は2006年度の東京都立高校の英語入試問題の大問4の読解問題の英文の冒頭部分です。

Jennifer was ten years old. She had a brother Bill. He was sixteen. He was a leader of children's activities in the community....

この2つ目の文の "a brother Bill" という表現に私は違和感があります。a brother のあとにカンマをふって "a brother, Bill" とすべきではないでしょうか。

（埼玉県　牧　晋也）

Ans. 確かにコンマがあるほうがよいでしょう。理由の1つは，主な新情報は「彼女に兄弟がいた」だからであり，「その兄弟がビ

ルと呼ばれていた」という事実は追加情報だからです。コンマを省略するとしても，たとえば，下の(1)のほうがもっと容認度が高いです。

(1) She had a brother(,) called Bill.

このような容認度の差は，どこから生じるのでしょうか。She had a brother Bill. はなぜぎこちなく聞こえるのでしょうか。それは，「a brother ～」という表現において，「～」の部分に一般的な名詞が来ることがよくあるということと何らかの関係がある可能性があります。下の(2)がその例であり，a brother の後に一般名詞の officer が来ています。

(2) He was buried alongside a brother officer, who had been killed the previous day.

ご質問の英文でコンマを省略すると文法的に誤りであるとするのは，厳しすぎると言えます。BNC からの下の2つの例にあるように，コンマが省略されている例をコーパスから見つけるのは難しくありません。

(3) (?)Of his siblings, only two attained maturity, a brother Christopher who became a lawyer, and a sister who married the elder brother of William Strode.

(4) (?)PC Williamson ... was due to attend his niece's wedding tomorrow. A brother Freddie, 33, a soldier in the Ulster Defence Regiment, was killed just over ten years ago after he was fired on by INLA gunmen.

しかし，以下の例のように，コンマが使われている例のほうが圧倒的に多いことは確かです。

(5) Joan Waters was the oldest of four children. A brother, Derek, two years younger, was closest to her in age.

(6) The head gardener at Chilton at the turn of the century, Charles Beckett, had a brother, Edwin, also a head gardener, and both men built exactly the same design of fruit house in their respective gardens.

(7) Laura — who already has a brother, Lewis, two next month — was at death's door just ten weeks ago.

おそらく，(3)と(4)を書いた人たちがコンマを避けたのは，文中ですでにいくつかのコンマを使ってあるので，これ以上コンマを使うと文がぎこちなく，断片的な印象を与えかねないと思った可能性があります。しかし，ご質問の英文では，コンマがないので，この場合に該当するとは言えません。

所有格（たとえば，例(8)の Her）があるときは，コンマを使わなければならないという要求がはるかに弱まることに注目して下さい。したがって，ご質問の文は以下のように書くことができたでしょう。

(8) Jennifer was ten years old. Her brother Bill was sixteen. He was ....

(8)において，Bill の前後にコンマが可能ですが，この文はコンマがなくても文体的にまずいというわけではありません。

(Gareth Watkins／小林　功)

●英文解釈・和文英訳演習室投稿規定●

- 用紙はB５判（たて25.7cm×よこ18.2cm）で，手書きの場合はケイ線の入った紙を用いる
- 紙の表裏両面を使わず，片面のみに書くこと
- １行おきに横書き
- なるべく１頁以内におさめる
- 氏名(匿名も可)はローマ字で答案の右上に書く
- 締切りは11月30日(木)消印有効
- あて先――〒101-8466　千代田区神田錦町3-24 大修館書店『英語教育』編集部演習室係